

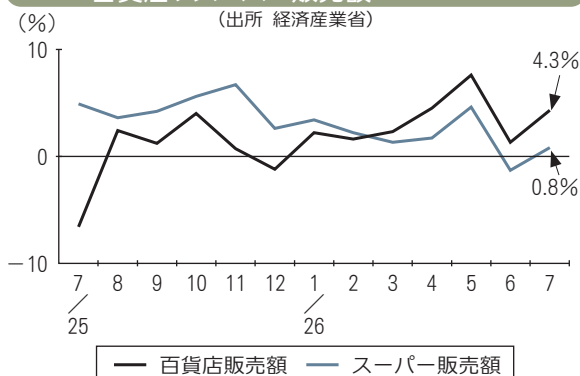
緩やかに回復しているが、中東情勢や自然災害の影響を注視する必要がある

個人消費（百貨店・スーパー販売額、全店ベース）

販売額は前年同月比 2 か月ぶりの増加

- ・ 7 月の全国百貨店販売額は前年同月比 4.3% 増の 5,346 億円で、7 か月連続の増加。
- ・ 7 月の全国スーパー販売額は同 0.8% 増の 1 兆 4,251 億円で、2 か月ぶりの増加。
- ・ 百貨店・スーパーの販売額は同 1.8% 増の 1 兆 9,597 億円で、2 か月ぶりの増加。

百貨店、スーパー販売額（前年同月比）

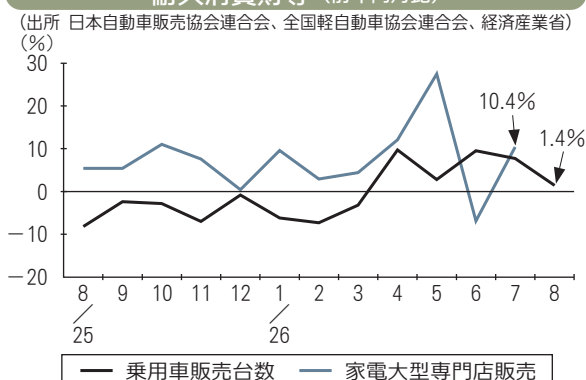


個人消費（耐久消費財等）

乗用車販売台数は前年同月比 5 か月連続の増加

- ・ 8 月の乗用車販売台数（登録車 + 軽）は前年同月比 1.4% 増の 25 万 2,909 台で、5 か月連続の増加。うち、乗用車（登録車）は同 8.1% 増の 17 万 2,839 台で、5 か月連続の増加。軽乗用車販売台数は、同 10.5% 減の 8 万 70 台で、3 か月ぶりの減少となった。
- ・ 7 月の家電大型専門店販売額は、前年同月比 10.4% 増の 4,770 億円で、2 か月ぶりの増加。

耐久消費財等（前年同月比）

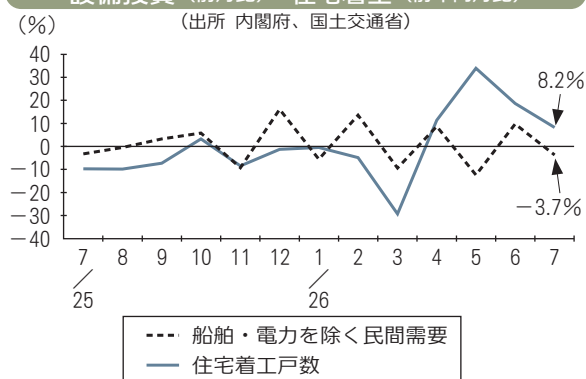


投資（設備投資、住宅着工）

機械受注額は前月比 2 か月ぶりの減少

- ・ 民間設備投資の先行指標とされる「船舶・電力を除く民間需要」における 7 月の機械受注額（季節調整値）は、製造業が前月比 1.0% 減、非製造業が同 2.6% 減となり、全体では同 3.7% 減の 1 兆 169 億円で、2 か月ぶりの減少。
- ・ 7 月の新設住宅着工戸数は前年同月比 8.2% 増の 66,439 戸となった。うち、持家は同 0.4% 増、貸家は同 10.0% 増、給与住宅は同 24.4% 減、分譲住宅は同 14.6% 増。

設備投資（前月比）・住宅着工（前年同月比）

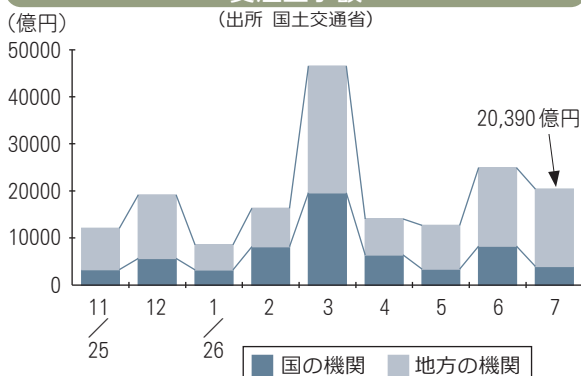


投資（公共投資）

公共投資は前年同月比 3 か月連続の増加

- ・ 7 月の公共機関からの受注工事額（1 件 500 万円以上）は前年同月比 1.4% 増の 2 兆 390 億円となり、3 か月連続の増加。国の機関は、同 3.2% 減の 3,962 億円で 2 か月ぶりの減少。地方の機関は、同 2.6% 増の 1 兆 6,428 億円で 2 か月ぶりの増加。

受注工事額

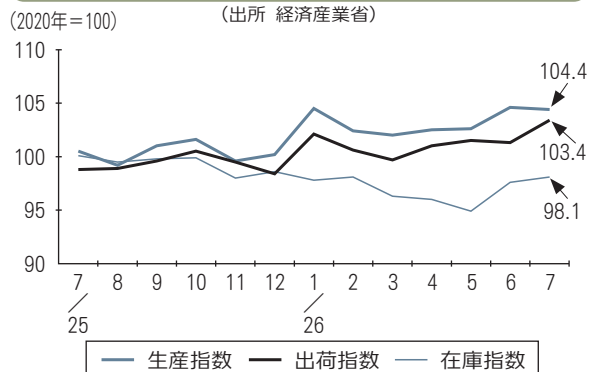


生産

生産指数は前月比低下、出荷指数・在庫指数は同上昇

- 7月の鉱工業生産指数（季節調整値・確報値）は前月比0.2%低下の104.4。
- 出荷指数は同2.1%上昇の103.4。
- 在庫指数は同0.5%上昇の98.1。

生産・出荷・在庫指数の推移（確報値、季節調整済）

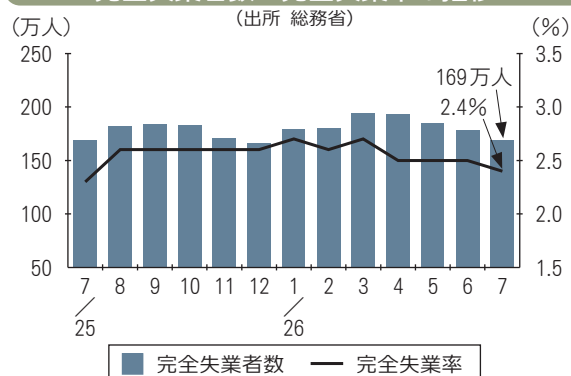


雇用

完全失業率は前月比0.1ポイント低下の2.4%

- 7月の完全失業率（季節調整値）は前月比0.1ポイント低下の2.4%。男女別では男性は前月比0.1ポイント低下の2.6%。女性は前月比0.2ポイント低下の2.1%。
- 完全失業者数（原数値）は前年同月と同じ169万人。求職理由別に前年同月と比べると「勤め先や事業の都合による離職」が1万人の増加、「自発的な離職（自己都合）」が5万人の増加。

完全失業者数・完全失業率の推移

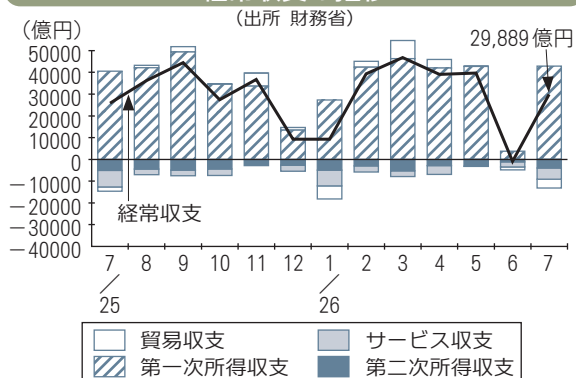


国際収支

経常収支は黒字幅拡大

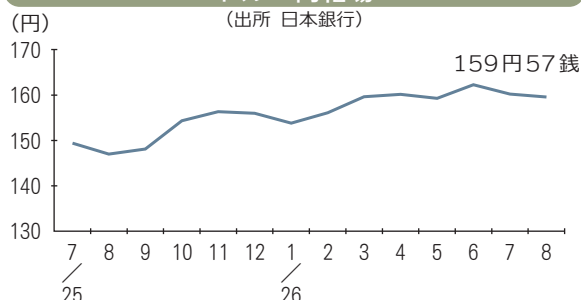
- 7月の国際収支状況（速報）によると、経常収支は2兆9,889億円の黒字。サービス収支が赤字幅を縮小したこと等から、前年同月比黒字幅拡大。「貿易・サービス収支」は9,128億円の赤字で赤字幅縮小（うち貿易収支は3,999億円の赤字で赤字幅縮小、サービス収支は5,129億円の赤字で赤字幅縮小）。第一次所得収支は4兆2,896億円の黒字で、直接投資収益が黒字幅を拡大したこと等から黒字幅を拡大。

経常収支の推移



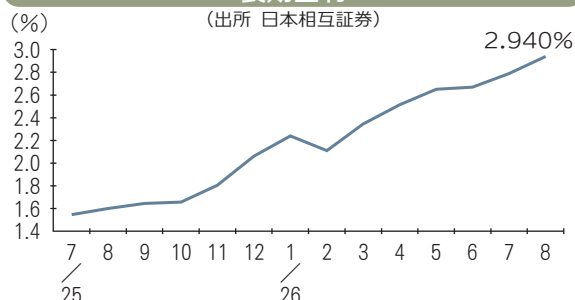
為替（ドル・円相場、月末終値）

ドル・円相場



金融情勢（新発10年国債利回り、月末）

長期金利



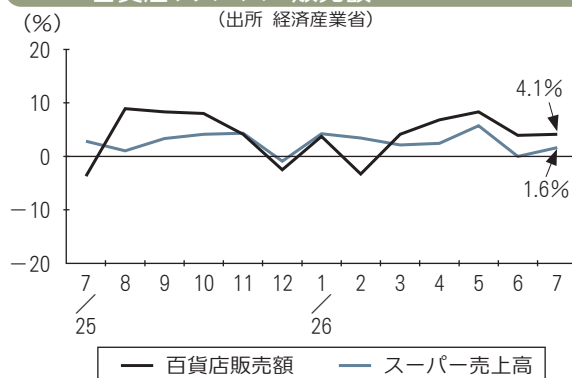
一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している

個人消費 (百貨店・スーパー販売額 (全店ベース)、速報値)

販売額は前年同月比 5 か月連続の増加

- ・ 7 月の百貨店販売額は前年同月比 4.1% 増の 1,001 億 10 百万円で、5 か月連続の増加。
- ・ 7 月のスーパー販売額は同 1.6% 増の 814 億 30 百万円で、7 か月連続の増加。
- ・ 百貨店・スーパーの販売額は同 3.0% 増の 1,815 億 40 百万円で、5 か月連続の増加。

百貨店、スーパー販売額 (前年同月比)

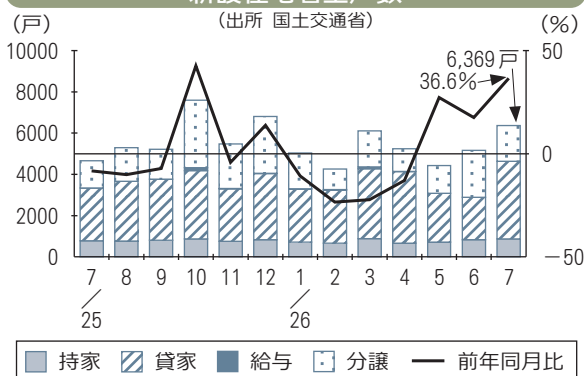


住宅着工

新設住宅着工戸数は前年同月比 3 か月連続の増加

- ・ 7 月の新設住宅着工戸数は前年同月比 36.6% 増の 6,369 戸となり、3 か月連続の増加。
- ・ 利用関係別にみると、持家は同 13.0% 増の 872 戸と 4 か月連続の増加、貸家は同 46.3% 増の 3,756 戸と 2 か月ぶりの増、分譲住宅は同 30.8% 増の 1,730 戸と 2 か月連続の増加となった。

新設住宅着工戸数

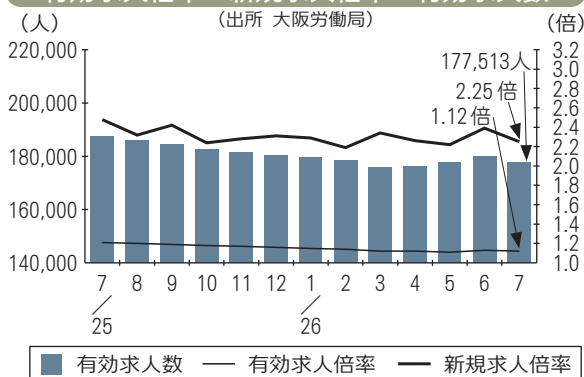


雇用情勢

有効求人倍率は前月比 0.01 ポイント低下の 1.12 倍

- ・ 7 月の有効求人倍率 (季調値) は、前月比 0.01 ポイント低下の 1.12 倍となり、2 か月ぶりの低下。前年同月比は 0.09 ポイント低下。
- ・ 新規求人倍率 (季調値) は、前月比 0.14 ポイント低下の 2.25 倍となり、2 か月ぶりの低下。前年同月比は 0.23 ポイント低下。

有効求人倍率・新規求人倍率・有効求人数

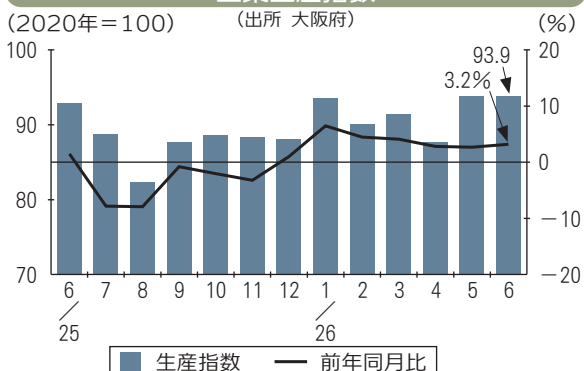


生産活動

工業生産指数は前月比 2 か月連続の上昇

- ・ 6 月の工業生産指数 (季調値、速報値) は、前月比 0.1% 上昇の 93.9 となり、2 か月連続の上昇。原指数は前年同月比 3.2% 上昇の 94.9 となり、7 か月連続の上昇。
- ・ 業種別生産指数の動きをみると、輸送機械工業、化学工業などの 9 業種が前月比上昇となる一方、生産用機械工業、石油・石炭製品工業などの 5 業種が同低下。

工業生産指数



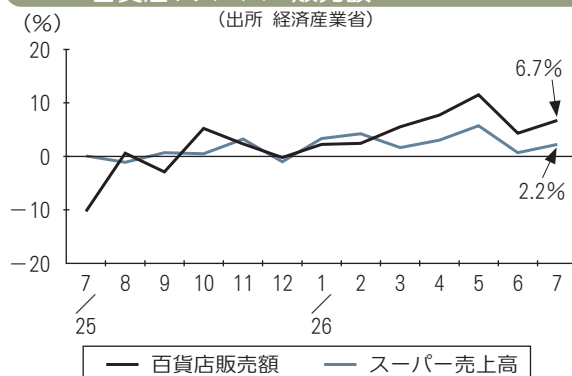
緩やかに持ち直している

個人消費 (百貨店・スーパー販売額 (全店ベース)、速報値)

販売額は前年同月比 7 か月連続の増加

- ・ 7 月の百貨店販売額は前年同月比 6.7% 増の 228 億 98 百万円で、7 か月連続の増加。
- ・ 7 月のスーパー販売額は同 2.2% 増の 219 億 71 百万円で、7 か月連続の増加。
- ・ 百貨店・スーパーの販売額は同 4.4% 増の 448 億 69 百万円で、7 か月連続の増加。

百貨店、スーパー販売額 (前年同月比)

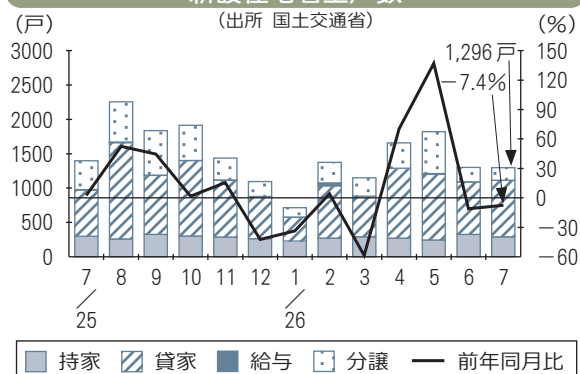


住宅着工

新設住宅着工戸数は前年同月比 2 か月連続の減少

- ・ 7 月の新設住宅着工戸数は前年同月比 7.4% 減の 1,296 戸となり、2 か月連続の減少。
- ・ 利用関係別にみると、持家は同 2.7% 減の 291 戸と 4 か月ぶりの減少、貸家は同 22.1% 増の 824 戸と 4 か月連続の増加、分譲住宅は同 57.0% 減の 181 戸と 2 か月連続の減少となった。

新設住宅着工戸数

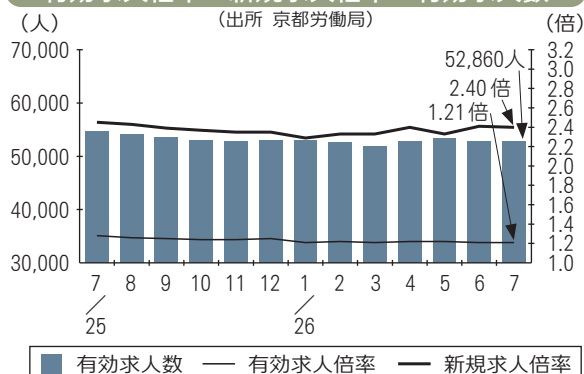


雇用情勢

有効求人倍率は前月と同じ 1.21 倍

- ・ 7 月の有効求人倍率 (季調値) は、前月と同じ 1.21 倍。前年同月比は 0.07 ポイント低下。
- ・ 新規求人倍率 (季調値) は、前月比 0.01 ポイント低下の 2.40 倍となり、2 か月ぶりの低下。前年同月比は 0.05 ポイント低下。

有効求人倍率・新規求人倍率・有効求人数



生産活動

鉱工業生産指数は前月比 2 か月ぶりの上昇

- ・ 6 月の鉱工業生産指数 (季調値、速報値) は、前月比 9.6% 上昇の 121.8 となり、2 か月ぶりの上昇。原指数は前年同月比 5.8% 上昇の 122.5 となり、2 か月ぶりの上昇。
- ・ 業種別生産指数の動きをみると、食料品・たばこ工業や窯業・土石製品工業などの 14 業種が前月比上昇となる一方、電気機械工業や輸送機械工業の 2 業種が同低下。

鉱工業生産指数



足踏み状態となっている

個人消費 百貨店・スーパー販売額は前年同月比 2 か月連続の減少

住宅着工 新設住宅着工戸数は前年同月比 3 か月ぶりの減少

公共投資 公共工事請負金額は前年同月比 5 か月連続の増加

雇用情勢 有効求人倍率は前月比 0.01 ポイント低下の 1.11 倍

企業倒産 倒産件数は 10 件 負債総額は 3 億 51 百万円

生産活動 鉱工業生産指数は前月比 2 か月ぶりの低下

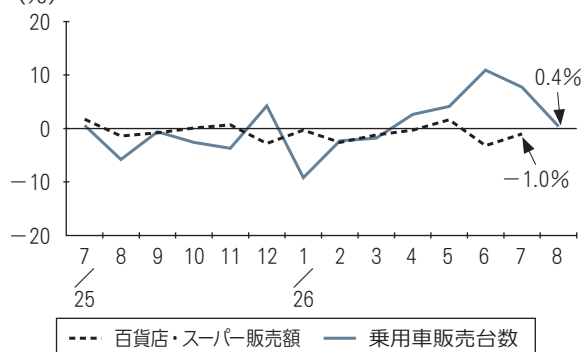
個人消費

百貨店・スーパー販売額は前年同月比 2 か月連続の減少

- ・ 7 月の百貨店・スーパー販売額（速報値、全店ベース）は前年同月比 1.0% 減の 174 億 67 百万円となり、2 か月連続の減少。
- ・ 8 月の乗用車販売台数は前年同月比 0.4% 増の 2,686 台と、5 か月連続の増加。普通乗用車は同 1.9% 増、小型乗用車は同 17.7% 増。軽乗用車は同 9.2% 減となった。

百貨店・スーパー販売額、乗用車販売台数（前年同月比）

(%) (出所 経済産業省、奈良運輸支局、奈良県軽自動車協会)

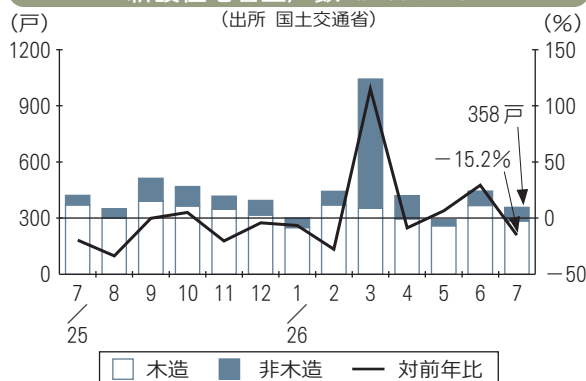


住宅着工

新設住宅着工戸数は前年同月比 3 か月ぶりの減少

- ・ 7 月の新設住宅着工戸数は前年同月比 15.2% 減の 358 戸と、3 か月ぶりの減少。
- ・ 利用関係別にみると、持家は同 10.0% 減の 171 戸と 4 か月ぶりの減少、貸家は同 10.9% 減の 106 戸と 3 か月連続の減少、分譲住宅は同 28.3% 減の 81 戸と 3 か月ぶりの減少となった。

新設住宅着工戸数（前年同月比）



公共投資 (西日本建設業保証の保証取り扱い)

公共工事請負金額は前年同月比 5 か月連続の増加

- ・ 8 月の公共工事請負金額の動向をみると、件数は前年同月比 2.3% 増の 134 件となり、5 か月連続の増加。金額は同 36.1% 増の 85 億 30 百万円と、5 か月連続の増加。
- ・ 発注者別にみると、国は同 114.2% 増、県は同 28.6% 減、市町村は同 0.7% 減。

奈良県下の公共工事の動向（前払金保証の請負金額・件数）

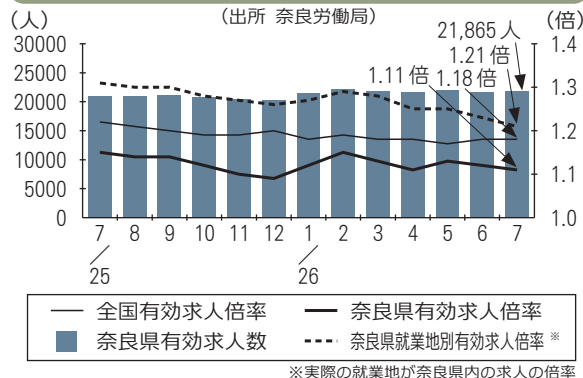


雇用情勢

有効求人倍率は前月比 0.01 ポイント低下の 1.11 倍

- ・ 7 月の有効求人倍率（季調値）は前月比 0.01 ポイント低下の 1.11 倍となり、2 か月連続の低下。前年同月比は 0.04 ポイント低下。
- ・ 新規求人倍率（季調値）は、前月比 0.01 ポイント低下の 1.98 倍となり、2 か月連続の低下。前年同月比は 0.03 ポイント上昇。

有効求人倍率・有効求人数

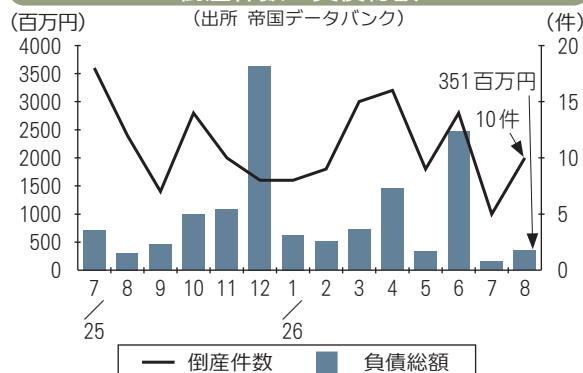


企業倒産

倒産件数は 10 件、負債総額は 3 億 51 百万円

- ・ 8 月の倒産状況をみると、件数は前年同月比 16.7 %減の 10 件。負債総額は同 15.1%増の 3 億 51 百万円と 2 か月ぶりの増加。
- ・ 業種別では、サービス業が 4 件、建設業、小売業が各 2 件、製造業、卸売業が各 1 件。倒産形態では、破産が 8 件、特別清算、民事再生法が各 1 件であった。

倒産件数・負債総額



生産活動

鉱工業生産指数は前月比 2 か月ぶりの低下

- ・ 7 月の鉱工業生産指数（季調値、速報値）は、前月比 0.7%低下の 98.5 となり 2 か月ぶりの低下。原指数は前年同月比 3.9%低下の 104.7 となり 2 か月ぶりの低下。在庫指数は前月比 0.1 %上昇の 82.1 となり 4 か月ぶりの上昇。

- ・ 業種別生産指数の動きは、食料品・たばこ工業、プラスチック製品工業、その他製品工業等の 7 業種が前月比上昇となる一方、化学工業、金属製品工業、非鉄金属工業等の 9 業種が同低下。

鉱工業生産指数

(出所 奈良県)

(2020年=100)

